

第4章 避難者・被災者への支援

4.1 避難者・避難所への対応

・対応状況

避難所開設 平成28年4月16日 1時50分～

・避難所開設状況

指定避難所 48カ所 自主避難所 2カ所 合計 50カ所

※指定避難所へ職員配置又は巡回による対応

・最大避難人数

	4月16日(土)		4月17日(日)	
指定避難所	768世帯	1,785人	881世帯	2,201人
自主避難所	9世帯	29人	11世帯	38人
合計	777世帯	1,814人	892世帯	2,239人

・救援物資の支給状況

毛布、食料、飲料水配布

・毛布 4月16日 約950枚
4月17日 約950枚(避難所からの要請にもとづき配布)

・食料 4月16日7:30 おにぎり(2個入り) 500パック
4月17日7:30 おにぎり(2個入り) 800パック
4月19日6:30 おにぎり100個、菓子パン100個

・飲料水 避難所の避難者数確認後、ペットボトル飲料水を配布
4月16日 避難所開設後 2L入り150本 1.5L入り64本
4月17日 避難所開設後 2L入り34本

・保健師による避難所の巡回

4月16日 午前3時～ 避難所巡回（2巡）のべ24ヶ所

避難所での待機 5ヶ所

声かけや健康相談 268人

内容

- ・有熱小児がいたが薬持参
- ・体調不良者等特に見当たらず
- ・不眠・睡眠不足を訴える 数人
- ・車中泊 数世帯

4月17日 避難所巡回 のべ10ヶ所

声かけや健康相談 36人

内容

- ・体調不良なし
- ・ほとんど帰宅していた

※4月20日 振興局管内避難者の巡回（7ヶ所）実施 33人への聞き取り、指導

・今後の対応

余震が続くことを想定。

避難準備情報発令時の避難所開設とは別に、自主避難対応マニュアルによる弾力的対応を行う。

日田市総合保健福祉センター（ウェルピア）において、健康保険課 健康支援係による健康相談の受付

表-4.1.1 開設避難所と最大避難世帯・避難者数

4月16・17日熊本地震

開設避難所	最大避難世帯数	最大避難者数
桂林小学校	38世帯	123人
咸宜小学校	64世帯	132人
日隈小学校	22世帯	51人
若宮小学校	21世帯	45人
三芳小学校	34世帯	105人
東部中学校	30世帯	88人
日田林工高校	16世帯	36人
光岡小学校	26世帯	85人
高瀬小学校	26世帯	91人
朝日小学校	11世帯	35人
三和小学校	15世帯	31人
有田小学校	28世帯	100人
羽田多目的交流館（まちづくり推進課）※水曜定休	10世帯	24人
小野公民館（まちづくり推進課）	22世帯	48人
大鶴公民館（まちづくり推進課）	24世帯	50人
夜明振興センター（まちづくり推進課）	14世帯	40人
石井小学校	11世帯	49人
五和振興センター（まちづくり推進課）	19世帯	50人
パトリア日田	85世帯	176人
総合体育館	27世帯	70人
小計	543世帯	1,429人
上津江体育館	44世帯	87人
上津江第5分団消防詰所	13世帯	21人
川原自治会センター	4世帯	5人
小計	61世帯	113人
中津江振興局	10世帯	21人
津江小中学校	32世帯	71人
鯛生金山管理事務所	14世帯	25人
小計	56世帯	117人
柚木多目的交流館	1世帯	2人
前津江小学校	26世帯	66人
旧赤石小学校	2世帯	4人
曾家多目的交流館	2世帯	9人
出野交流センター	12世帯	40人
赤石老人憩の家	2世帯	3人
小計	45世帯	124人
旧台小学校	10世帯	25人
旧丸山小学校	2世帯	2人
旧桜竹小学校	17世帯	31人
旧出口小学校	41世帯	99人
いつま小学校	15世帯	47人
東溪中学校	8世帯	25人
五馬中学校	4世帯	18人
天瀬総合福祉センター	23世帯	36人
小計	120世帯	283人
旧鎌手小学校	11世帯	17人
旧都築小学校	0世帯	0人
旧大山中学校	6世帯	15人
南部コミュニティセンター	6世帯	8人
西峰コミュニティセンター	9世帯	22人
老松コミュニティセンター	5世帯	15人
北部コミュニティセンター	2世帯	4人
大山小中学校	17世帯	54人
小計	56世帯	135人
日田市役所 地下1階	8世帯	18人
桂林公民館	3世帯	20人
総計	892世帯	2,239人

4.2 観光業への対応

4.2.1 被害状況

〈旅館ホテル等〉

○日田旅館組合

・施設等の被害はない。観光客等の受け入れは可能

○天ヶ瀬温泉旅館組合

・施設の被害はないが、断水の影響（水道、地下水ともに白濁、飲料水として不適）で宿泊者の受け入れ等困難であったが、4月23日（土）の断水解除以降、順次営業を再開している。

表-4.2.1 宿泊キャンセル状況(4月24日現在)(表-2.6.1を再掲)

	予約数			合計 (人)	キャンセル数			合計 (人)	備考
	4月	5月	6月		4月	5月	6月		
日田旅館組合	9,060	9,528	5,435	24,023	3,644	4,398	1,020	9,062	37.7%
天ヶ瀬温泉旅館組合	4,386	7,241	3,039	14,666	3,775	5,632	2,520	11,927	81.3%
計	13,446	16,769	8,474	38,689	7,419	10,030	3,540	20,989	54.3%

※被災者の受け入れや工事関係者の受け入れについて、大分県旅館ホテル生活衛生同業組合より、受入対応について、照会あり・・・日田旅館組合は、対応可能と回答

※首都圏のガス関連事業者約350名が、熊本地震の災害復旧支援のため日田温泉（みくまホテル、山陽館、かんぼの宿、亀山亭、よろづや）に宿泊している。（4月21日現在）

※中国政府：熊本への渡航禁止（5月16日まで）、九州地方への渡航の自粛
香港政府：熊本県への渡航の注意喚起

4.2.2 今後のイベントの開催予定（5月末まで）

① 4月29日 第49回 津江山系釈迦連峰山開き（中止決定）

② 5月3日～4日 第12回 小鹿田焼唐臼祭（開催予定）

③ 5月8日 第21回 遊花祭（開催予定）

④ 5月20日・21日 第69回 日田川開き観光祭（開催予定）

⑤ 5月20日・21日 2016 AUTOBACS SUPER GT IN KYUSHU 300KM（延期）

※オートポリス：近隣道路の落石等による通行止めのため、5月15日までレース等の施設利用中止。

4.2.3 その後の対応

観光業への対応としては、「元気倍！日田！！」緊急観光誘客対策事業の実施や「九州ふっこう割」の実施を行なった。その内容は、「第5章 復旧と復興へ向けて」において記載した。

4.3 商工業者への対応

4.3.1 震災による事業者への影響

- | | |
|----------------|---|
| ①誘致企業 | 特に被害は無し。 |
| ②日田市工業連合会 | 特に被害は無し。 |
| ③自動車部品関連 | 関連会社の影響により、18日～26日に操業を停止する企業あり。 |
| ④建設業協会日田支部 | 事業への影響は今のところ無し。 |
| ⑤運送業 | 物資輸送の需要が増えたことにより、配送の需要が増加している。 |
| ⑥小鹿田焼協同組合 | 影響は無し。品物が割れたりはしなかった。 |
| ⑦日田市商店街連合組合 | 建物被害は無し。店によっては若干のキャンセル有り。 |
| ⑧日田地区商工会(除温泉街) | 通行止め等の影響により、オートポリスが営業停止(5月15日まで)、フィッシングパーク、鯛生金山、高塚愛宕地蔵尊の客が減少している。 |

日田商工会議所・日田地区商工会が4月20日～27日(予定)に職員が、建物・設備・仕入・売上等について、訪問により聞き取り調査を行う。

4.3.2 事業者への支援策

①融資制度

(大分県の融資制度)

- ・災害復旧融資 限度額 3,500万円(企業)、期間 7年(運転)・10年(設備)、利率 0.8%(一般融資 2.1%)、保証料 0%(一般融資 0.85%)、取扱期間は平成28年10月31日まで

②雇用対策

(雇用調整助成金)

- ・業績悪化が予想される事業者に対して、雇用調整助成金の適用を行う際の、支給要件の特例措置を厚生労働省が講じた。
- ・雇用対策助成金 休業を実施した場合の休業手当等の賃金相当額に対して、4/5(中小企業の場合)又は2/3(大企業の場合)を助成する。
- ・支給要件の特例 過去1か月(従来は3か月)の売上が前年同期と比較して10%以上減少していること。

4.4 市営住宅への一時入居

今回の地震により家屋の全壊、半壊、一部損壊、流失、土砂流入等の被害を受け、住居に居住し続けることが困難であり、また住宅の修復等に期間を有するなどの理由により、一時入居を必要としている方に、空き家となっている市営住宅等を入居条件等を大幅に緩和し提供することとした。

○条件等

- ・ 入居申し込みの際必要なもの
 - ①市営住宅目的外使用許可申請書
 - ②り災証明書
 - ③誓約書（期限内退去）
- ・ 一時使用の期限
当面6ヶ月間とし1回の更新を認める。
- ・ 使用料等について
使用料（家賃）、敷金、駐車場使用料 免除
連帯保証人免除
- ・ 対象となる市営住宅等（早期に入居が可能なもの）
市営住宅7戸
内訳 桃山団地3戸、三和団地2戸、坂井町住宅1戸、朝日ヶ丘住宅1戸
（うち坂井町住宅1戸については、日田市天瀬町の被災者の入居決定済み）
4月25日（月）17:00 現在 その他の問い合わせなし
（熊本市で被災した世帯からの問い合わせは、民間アパートに入居決定）
- ・ 受付の開始
平成28年4月20日（水）

○実績

1世帯2人が1年間一時使用した。以後、一般入居として引き続き入居した。

4.5 給水支援活動

地震の影響で、天瀬町と大山町の簡易水道の一部には、白濁が発生し、飲料水等として使用できず、生活者や飲食業、旅館業の営業に大きな影響が出た。これに対し、水道課では、他市町村等の支援も得ながら、給水支援活動を行った。